

研究・調査報告書

報告書番号	担当
16	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Parental alcoholism and offspring behavior problems: findings in Australian children of twins. 親のアルコール中毒と子の問題行動： オーストラリアの双子の研究成果について	
執筆者	
Waldron M, Martin NG, Heath AC.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Twin Res Hum Genet. 2009;12(5):433-40.	
キーワード	
親、アルコール中毒、子供の問題行動	
要 旨	
<p>目的： アルコール中毒の親を持つ子供 COAs には行為障害や行動化 acting out などの外在化問題のリスクが増加することが以前から報告されてきた。本研究の目的は遺伝的な影響よりも親のアルコール中毒の増加により子供の問題行動のリスクが増加するのかどうか調査することである。</p> <p>方法： 性が同一のまたは異なる双子の子供についての現在進行中の 2 つの研究[Mothers And Their Children (MATCH) および Parental Alcoholism & Child Environmental Risk(PACER)]から、無作為に抽出した 2492 人の子供のデータを用いた。親のアルコール依存症 AUD について、アルコール依存および乱用の生活歴は、DSMIII-R 評価を基礎とした DSM-IV 症状で示されものとした。子供の問題行動については、親の報告より the Child Behavior Checklist for Age 6-18(CBCL)を満たした場合とした。親および双子の片方の AUD から CBCL の内在化問題、外在化問題および問題行動全体のスコアを予測する回帰モデルを用いた。</p> <p>結果： 親のまたは双子の片方の AUD の生活歴から子の問題行動を予測する回帰モデルより、外在化問題および問題行動全体については、環境的なものではなく遺伝的な伝達を支持する所見が得られた。内在化問題については、リスクの伝達についての結論はでなかった。</p> <p>結論： 方法論的な限界があるにも関わらず、親のアルコール依存と子の問題行動の関連に隠されたリスク機序についての重要な見識を示した。他に相関するしかしながら測定できない遺伝的および環境リスクの役割に対する包括的な分析を含んだ、因果の過程についての継続した研究が必要である。</p>	